

文化施設へのコンセッション導入促進 支援について

令和7年1月27日

文化庁企画調整課

“文化施設”へのコンセッション導入について

- “文化施設”の位置付け、意味合いの変遷
- “文化施設”の建設のタイミング（改修期の到来）
- “文化施設”をどう捉えるのか？
- 文化庁としてのコンセッション関連の取組
（意識醸成・情報共有、相談窓口の設置、伴走的なプランニング
のコンサルテーション、サウンディング調査等の支援）

令和6年度の勉強会



文化施設へのコンセッション方式の導入に対する関心・理解を促進するため、地方公共団体や指定管理者・民間事業者向けの勉強会を実施。

- 第1回 地方公共団体向け勉強会（説明編）

開催日：令和6年7月30日（火）

→コンセッション方式導入の基礎的な知識を説明

- 第2回 地方公共団体向け勉強会（説明編）

開催日：令和6年10月1日（火）

※第2回勉強会は第1回と同様の内容です。

- 地方公共団体向け勉強会（先進事例紹介編）

開催日：令和6年11月13日（水）

→蒲郡市の職員より竹島水族館における先進事例を紹介

- 2月～3月に「指定管理者、民間事業者向け勉強会」を開催予定

※詳しい情報は以下リンクに掲載予定

文化庁 コンセッション関連WEBページ

https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/chiiki/93807301.html_

令和6年度のマッチング会



地方公共団体での文化施設の維持管理・運営手法の検討にあたって、コンセッション導入を促進すべく、地方公共団体と民間事業者の相互の交流の機会を設定。

令和6年度民間事業者向けマッチング会

・滋賀県東近江市

開催日：令和6年10月29日（火）

→「（仮称）森の文化博物館基本計画」を策定した滋賀県東近江市から、同基本計画を直接ご紹介。同館の維持管理・運営事業に関心をお持ちの民間事業者・団体の皆様相互の交流を促進。

専門家による電話・メール相談、専門家派遣



文化施設サービス刷新・活動活性化等運営改善推進支援事業（伴走支援）

[ホーム](#) > [お問い合わせ](#)

お問い合わせ

令和6年度「文化施設サービス刷新・活動活性化等運営改善推進支援事業」事務局（PwCアドバイザリー合同会社）

受付時間 10時～17時（土日祝日を除く）

電話相談 [080-4182-1298](tel:080-4182-1298)

メールアドレス jp_adv_bunka-concession-r6-mbx@pwc.com

※メールでのお問い合わせの際には、メールタイトルに「【問合せ】内容名（発信元組織名）」の明記をお願いします。

<https://concession.bunka.go.jp/>

文化施設サービス刷新・活動活性化等 運営改善推進支援事業

現状・課題

○「経済財政運営と改革の基本方針2023」及び「PPP/PFI推進アクションプラン」に示されているとおり、新しい資本主義の中核となる「新たな官民連携」の取組として、民間の資金・ノウハウを公共施設等に活用するPPP/PFIについて、令和4年度からの5年間で「重点実行期間」とし、関連施策を集中的に投入するとともに、幅広い自治体の取組を促すとされており、このうち文化施設についてはコンセッション導入を図るとされているところである。

○このため、文化施設（劇場・音楽堂等、博物館・美術館、等）の設置者である自治体等に対し、コンセッションの導入促進を図るため、支援を実施する。

「経済財政運営と改革の基本方針 2023」
(令和5年6月16日閣議決定)(抜粋)

公共サービスを効率的かつ効果的に提供するPPP/PFIについて、改定アクションプランに基づき、各重点分野における事業件数目標の達成と上積みを見据え、取組を推進する。空港、スタジアム・アリーナ、文化施設等の重点分野への公共施設等運営事業等の事業化支援を継続しつつ、…(中略)。

「PPP/PFI推進アクションプラン」
(令和5年6月2日 民間資金等活用事業推進会議(会長:内閣総理大臣)決定)(抜粋)

⑥文化・社会教育施設
令和4年度から公共施設等運営事業等の活用に向けた取組を抜本的に強化し、令和8年度までに10件の具体化を目標とする。さらに、令和13年度までに30件の具体化を狙う。

事業内容

文化施設におけるサービス刷新や活性化等運営改善に関して、コンセッションを活用した運営充実に必要な経費に対する支援等を実施。

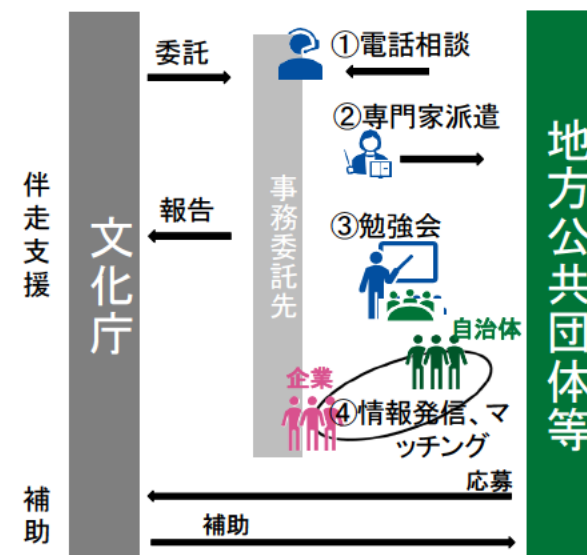
- 事業実施期間：令和5年度～令和13年度（予定）

専門家による助言等の伴走支援

- 電話で専門家に相談できる窓口の設置や、自治体等への専門家派遣、勉強会の実施、企業への情報（サウンディング調査・プロポーザル公募情報等）発信等を実施。

導入調査・検討等の取組への支援【補助】

- VFMの確認【導入可能性調査】等に要する経費、実施方針・要求水準書の作成や、公募や契約締結等のコンセッション導入に関する手続きにおいて、法的・会計的な専門的な助言を受けること【アドバイザー業務】に要する経費、文化施設の更なる魅力向上を図るため、民間の発意によるサービス向上や魅力向上のアイデアを募集し、実現可能性を確認するための実証的な取り組みに要する経費等への支援。
- 交付先：地方公共団体等



アウトプット(活動目標)

伴走支援(専門家派遣)の数

令和5年度	令和6年度	令和7年度
10箇所	10箇所	10箇所

補助件数

令和5年度	令和6年度	令和7年度
2件	3件	3件

短期アウトカム(成果目標)

(令和6年度頃)
コンセッションの具体化計3件。

中期アウトカム(成果目標)

(令和7年度頃)
コンセッションの具体化計6件。

長期アウトカム(成果目標)

(令和8年度頃)
コンセッションの具体化計10件。

令和6年度の補助支援先

- ①奈良県文化会館(奈良県)
- ②滋賀県東近江市 (仮称)森の文化博物館事業(東近江市)
- ③宮島水族館(廿日市市)

リニューアルオープンに際しコンセッション導入を検討

① 奈良県文化会館

計画概要（2025年1月時点）

奈良県文化会館は、音楽系を軸とした多彩な舞台芸術の殿堂となるよう、令和9年度のリニューアルオープンを目指し、整備を進めている。

- ・文化会館全体の耐震改修を実施
- ・文化会館1階の奥に、約350席の本格的な音楽小ホールを新設
- ・上記に伴い2階に、新たに音楽練習室や練習スタジオを整備
- ・エントランス周辺にカフェを設けて、コンサート前に高揚感を促し、また、終演後に余韻に浸るひと時を提供
- ・エントランスから続くアトリウムに、ウェルカムイベントの開催等によるおもてなし空間を演出



外観イメージ

本事業の支援で実施したこと

○サウンディング調査

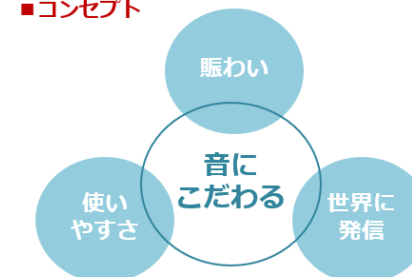
・サウンディングでコンセッション事業導入に一定の優位性があるとの意見あり

・新たな文化会館では、文化事業の実施だけではなく幅広い施設の活用を期待

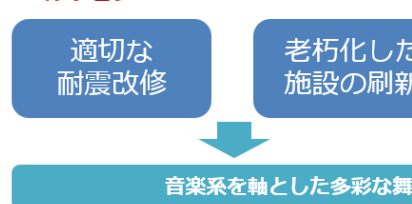
■機能構成



■コンセプト



■ミッション



■文化会館整備の背景

- ・地域ぐるみの音楽活動拠点
例：ジュニアオーケストラ等の活動拠点
- ・JNOとの連携協定に基づく音楽活動の展開
- ・世界トップレベルの演奏に県民が接する機会の創出
- ・音楽関連活動の発表の場
- ・音量を気にしない練習場所
- ・コンサート会場として評価される国際ホール

博物館新設に際しコンセッション導入を検討

② 滋賀県東近江市（仮称）森の文化博物館事業

計画概要（2025年1月時点）

- ・東近江市は琵琶湖と鈴鹿山脈、鈴鹿の森の豊かな自然を有し、質の高い木工品作品を生業とする木地師文化発祥の地でもある。
- ・この豊かな自然と文化をテーマとする博物館を新設し、森の歴史や文化に関する資料の収集保存、調査研究、展示を進め、その成果を広く発信する博物館を目指す。

本事業の支援で実施したこと

○導入可能性調査、サウンディング調査

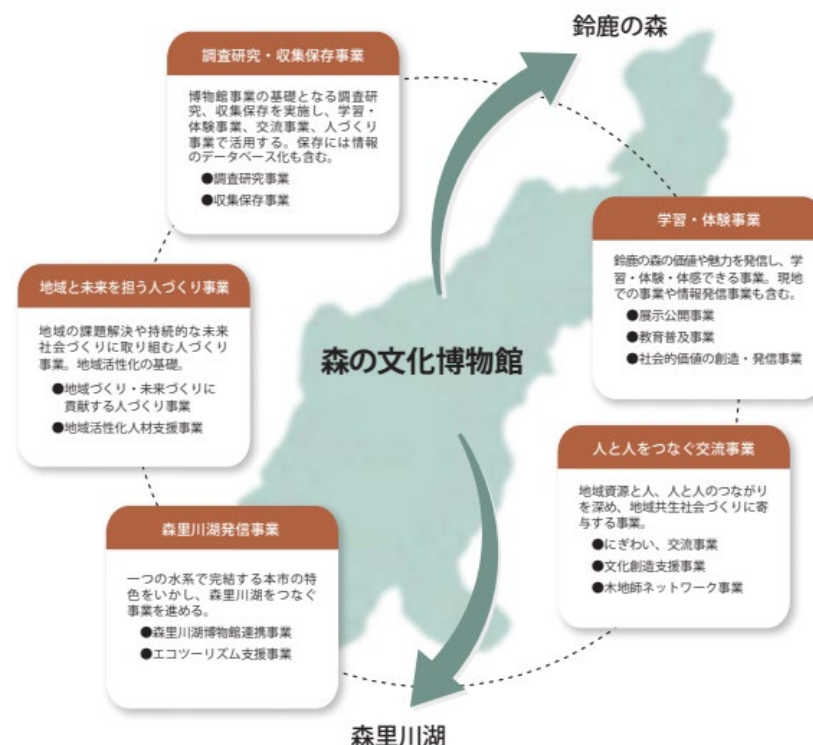
・本施設の整備に係る事業手法としては、公共が整備・管理・運営を行う通常の事業方式の「公設公営」方式、公共が整備を行い民間が管理・運営を行う「公設民営」方式（指定管理者制度、**コンセッション方式**等）、民間が整備・管理・運営を行う「民設民営」方式（PFI方式など）が考えられる。

・現段階での基本的な方針は、拠点施設における調査研究、資料収集保存、展示等の学芸業務は、市直営を基本とし、それ以外の総務、企画、広報等の業務については、**民間活力の導入も視野に入れながら柔軟に運営方式を検討する**。具体的にどの方式とするかは、民間事業者の意向や市民の意見、専門家の助言も踏まえつつ、今後検討していく。

出典：東近江市HP



鈴鹿の森の魅力が集まる地域で
出会うもの
体験するもの
感じるもの
すべてが博物館



博物館運営に関して現行制度を見直し、コンセッション方式の導入を検討

③ 宮島水族館

計画概要（2025年1月時点）

- ・宮島水族館は、平成23年8月にPFI事業BTO方式により現在の建物を整備し開館。
- ・開館から現在まで600万人を超える来館者が宮島水族館を訪れる。
- ・開館から15年が経過する令和8年7月末をもって現行のPFI事業契約が満了となることから、今後の宮島水族館の管理・運営について民間事業者の運営力等を活用し、良質で持続可能なサービスを提供するとともに、独立採算を念頭とした水族館の将来の健全な財政運営を目的として、指定管理者制度やコンセッション方式の導入可能性を調査。

本事業の支援で実施したこと

○サウンディング調査

本調査の一環として、民間事業者との対話を通じ、宮島水族館の魅力向上のための事業アイデアや事業参画条件の把握等を行うマーケットサウンディング調査を実施した。

※事業者数：6者（施設管理業、水族館運営、飼育業など）

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/uploaded/attachment/77067.pdf>

⇒多くの事業者が事業手法を**指定管理者制度**とし、事業期間も長く設定することを希望する意見が多いことを確認。

結果を踏まえ、宮島水族館官民連携手法の導入に向けて、さらに具体的な検討を進めているところ。



令和7年度の募集

文化庁 コンセッション関連WEBページに掲載予定

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/chiiki/93807301.html>

ご視聴いただきましてありがとうございました

文化庁 コンセッション関連WEBページ

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/chiiki/93807301.html>